

# 金光新聞

こんこうしんぶん Konko shimbun

2008 7 20 第861号  
平成20年 毎月第1、3、4日曜日  
発行(年36回)

## 金光教宣言

大いなる天地に生かされる人間として  
すべてのいのちを認め、尊び  
神と人、人と人、人と万物が  
あいよかけよで共に生きる世界を実現する

## 金光北ウイング 起工式

ご霊地の新施設「金光北ウイング」の起工式が、7月8日午前11時30分から、建設予定地の吉備乃家旅館跡地（浅口市金光町）で執り行われた。



# 信心道場竣工に向け祈願

式には施主代表の佐藤光俊  
教務総長をはじめ、当局者  
工事関係者や浅口市および町  
内の代表者、各教務センタ  
ー所長らが参拝。祭主の阪井澄

雄総務部長は、祭詞の中で、  
霊地諸施設整備への願いを述  
べた上で、「願いのままに速  
やかに工事を竣工させて頂  
き、関係者すべてが、身は健

やかに心は直く雄々しく、い  
よいよ立ち栄えますように」  
（口語訳）と奏上し、建設成  
就と工事の安全を祈願した。  
式典の中で、あいさつに

立った佐藤教務総長は、「立  
教150年を記念し、今後の  
教団の展開を願って建設する  
『金光北ウイング』。『やつな  
みホール』から四方八方へと

金光の光が放たれ、『光風館』  
から信心の風がご霊地を中心  
に全教へ、そして全世界へと  
届けられるよう、信心の道場  
として建設させて頂きたい」  
と、施設整備への願いを述べ  
た。



なお、金光北ウイングは、  
大祭や団体参拝時の宿泊・休  
憩、研修・講習会や各種団体  
の活動時の宿泊など、旧金光  
会館の機能に加え、平成13年  
の教団施設審議会上申で願わ  
れた信奉者会館の諸機能を吸  
収した複合施設になる。  
建物は宿坊をイメージした  
木造和風建築で、その名称  
は、全教から寄せられた案を  
もとに検討され、すでに着工  
している境内北スロープも含  
めた全体を「金光北ウイン  
グ」と命名。各棟については、  
これまでA棟と仮称してきた  
東側を「オープンサイトや  
つなみホール」とした。同施  
設は、参拝者用の休憩所のほ  
か、大人数の研修・講演会、  
冠婚葬祭の儀式などに利用で  
きる多目的ホールとなる。  
また、B、C棟と仮称して  
きた西側を「研修サイト 光  
風館」とし、宿泊可能な研修  
施設として、教団各方面の利  
用を推進していく。  
「金光北ウイング」の完成  
は来年2月末の予定。



## 天地の面影

## 足下の色とりどり ..... 歴代教主奥城

梅雨入りに合わせるように、ご霊地の自然  
がにわかに活気を帯びてきた。歴代教主奥城  
（おくつき）の広場を散策すると、芝生の緑色  
に混じってさまざまな花を見ることができる。  
ピンク色の花をらせん状に咲かせているの  
は、見た目そのままの名前を持つ、ネジバナ。  
なりは小さいが、ランの仲間だ。自然が生み

出す緻密（ちみつ）な造形美には驚かされる。  
紫色で、花びらが6枚あればニワゼキショウ  
だろう。端正な六角形を形成し、紫のグラデ  
ーションと、中心の黄色との対比が美しい。5  
枚の青みがかった花びらはヒナギキョウ。  
花以外にキノコも多く、あれこれ気になり  
だしたら、うかつに歩けなくなるかも。

### 今日の紙面

エンディングサポートを考える.....	2	3
毎日文化講座 金光教誕生物語.....	4	5
いのちを育てる—教育と信仰.....	5	5
教学研究会.....	6	8
佐藤テルの子育て記.....	5	
KPACエッセイ.....	5	
信心真話.....	8	

発行／金光教 新聞書籍発行運営委員会（販売事務・金光教徒社）  
〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷338 TEL 0865-42-2037 FAX 0865-42-5087  
\*郵便振替口座 01230-3-1583番 \*購読料 1年分送料込みで1部4800円・2部以上1部につき4200円

編集／金光教本部教庁 ●金光新聞編集室 ●東京支局  
〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷338 〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-11  
TEL 0865-42-7072 FAX 0865-42-9021 TEL 03-3818-1609 FAX 03-5803-3060